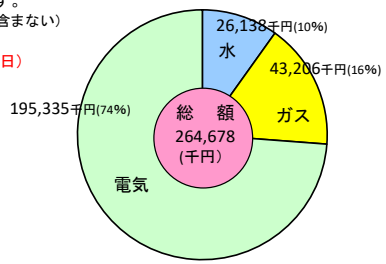
(令和8年度7月分)大塚キャンパスにおける光熱水量の推移

○ 光熱水量の現状について

光熱水量の現状は、下記のとおりです。

（１）大塚キャンパスの電気・ガス・水道の昨年度の年間費用は約2 億6 千万円/年です。
　　大学・各附属学校・こども園(いずみナーサリー・国際交流留学生プラザ・旧同窓会は含まない)

（２）電気･ガス･水道の使用料金を１日に換算すると約7 3万円/日の費用です。
　　（電気：約5 4 万円/日、ガス：約1 2 万円/日、水道：約7 万円/日）



昨年度の光熱水使用料金

○ 省エネルギー対策の目標値について

本学では省エネルギー対策の目標値を設定して、各種の取組みや啓蒙を行っています。

（１）目標値：年平均1 %以上の改善
　　『（省エネ法)エネルギーの使用の合理化等に関する法律』の目標値とする。

○ 省エネルギー対策の取組みについて

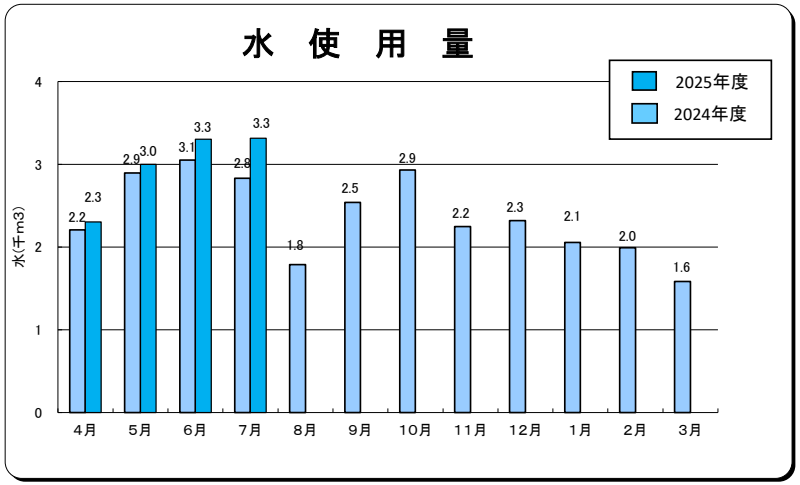
本学では下記の省エネルギー対策を積極的に行っています。

（１）１５年以上経過したエアコンを最新型に順次更新しています。
（２）老朽化した蛍光灯型照明器具をＬＥＤ型照明器具に順次更新しています。
（３）建物の新築や改修時には壁や屋上に断熱材を設置して、建物の断熱化を行っています。
（４）省エネルギー対策の一環として毎年、教職員の夏季一斉休業を実施しています。（ 計1０日間）

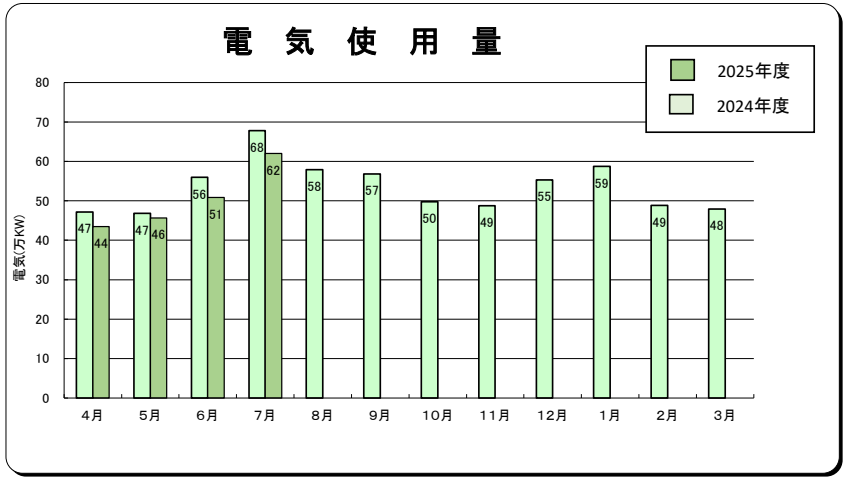
○ 省エネルギーの協力について

電気･水･ガスの使用量、料金の現状、省エネルギー対策などについてご理解いただき、今後も省エネルギーにご協力下さい。

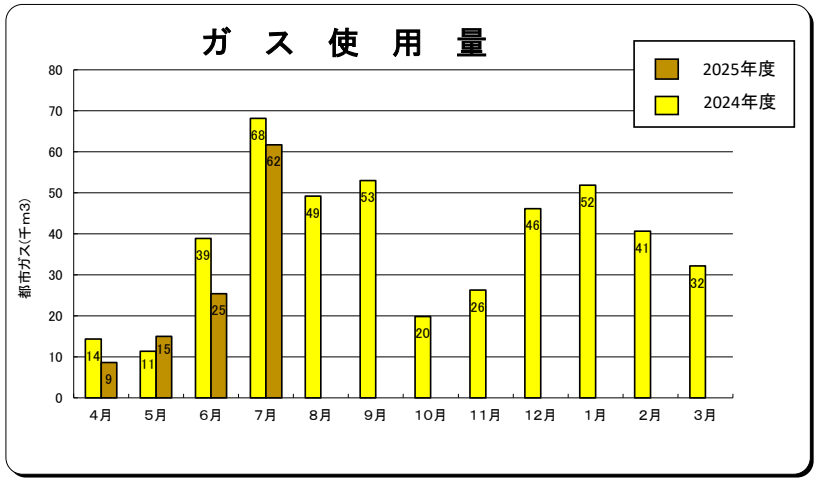
（１）教室や実験室を使い終わったら、必ず照明やエアコンを停止して下さい。
（２）エアコン使用時の室温は、冷房時28℃・暖房時２０℃として下さい。（エアコンの設定温度ではなく、室温とする。）
（３）トイレの暖房便座は、「 節電モード 」で使用して下さい。
（４）使用していない電気製品は、コンセントから抜いて下さい。
（５）建物内の移動で1 階～3 階程度の上下の移動は、エレベーターを使用しないようご協力下さい。



＜水使用量の解説＞
定期的な漏水調査及び修理を行うこと、および、
各建物のトイレを順次、節水機器に改修して、水の使用量の削減に努めています。



＜電気使用量の解説＞
老朽化したエアコンの更新や照明器具をＬＥＤ照明に取替え、廊下やトイレ照明の点滅を
人感センサー式に改修して、節電に努めています。



＜ガス使用量の解説＞
建物改修時には、ガスヒートポンプエアコンを高効率型へ更新することにより、ガスの使用量の
削減に努めています。